

自分の歯と口に関心を持って生きる力へ

京都市立大將軍小学校

本校では、教育目標「自ら学び、自ら考え、生き生きと表現する大將軍の子」のもと、研究テーマを「歯や口のしくみや働きを科学的に理解し、進んで歯と口の健康づくりに取り組み、生活できる子」とし、保護者・関係機関と協力して取組を進めています。

学級活動 毎月8日を「歯の日」と設定し、各教室で歯に関する保健指導を行っています。学習プリントを使い、歯や口に関する知識と、自分の生活をふり返り、今後どのような歯によい生活を送るかを記入し確認しています。

2年生で授業を校内で公開し、授業研究を行いました。来年度も計画的に、ショート・ロングの保健指導を行う予定です。



歯みがき週間、歯みがき検定 6月と11月に歯みがき週間を設けています。6月は、カラーテスターを使用しての歯みがき指導、11月は、歯と口に関する保健指導を1時間使って学習し、歯科保健についての知識を深めています。どちらも歯みがき週間中は、歯みがき強化週間として、給食後の歯みがきに力を入れています。

11月の歯みがき週間中に「歯みがき検定」を実施しました。級ごとのみがき方ができていれば合格となります。10級から名人まであり、こちらの予想を反して高学年も多くの子が参加し、もうすぐ『名人』という子どももいます。今後も年に3回実施できたらと考えています。

親子歯みがき教室 休日参観日に1・2年生とその保護者対象に、親子歯みがき教室を開きました。歯科衛生士の方を講師にお招きして、むし歯のなりたちについて、紙芝居や人形を使って、楽しくわかりやすくお話していただいた後、保護者の方へ子どもを膝にねかせての仕上げみがきの方法を実習しました。子どもたちは、はにかみながらも「気持ちい〜。」とニコニコ笑顔。保護者の方も、低学年のうちはまだまだ仕上げみがきなど、保護者の管理が必要だということを実感していただけたと思います。



日々の歯みがきやフッ化物洗口 給食後の歯みがきのチェックや長期休業中の歯みがきカレンダーなどで、歯みがきを習慣化させる取組、また週1回のフッ化物洗口実施で「自分の歯を自分で守る」という意識を高めていきたいと思っています。



児童保健委員会の活動 児童保健委員会も歯科保健啓発に一役買っています。6月の歯みがき週間に歯みがき啓発のポスターをかき、校内に掲示したり、全校集会で「歯に関するクイズ」をしたり活躍しました。また、むし歯治療済み児童へ手作りの歯ピカマグネットをプレゼントしました。

